



古 考える葦



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
令和元年度 NO. 6
令和2年2月17日
発行責任者 梶原 和子



今年の冬は例年になく暖かい日が続いていますね。インフルエンザは下火になってきましたが、新型コロナウイルスの流行も心配です。皆様もどうぞ感染症には充分注意し、健康に留意されてお過ごしください。

学校は、3月に卒業式や修了式があり、2月はそれぞれの学年が進級に向けて準備を始める大事なときを迎えています。6年生は小学校生活最後のまとめに入っているところです。ぜひ古山小で学んだことを誇りに、希望をもって中学校生活をスタートできるよう願っています。また、他の学年も1年間のまとめをする大切な時期です。その学年の学習内容はもちろん、今、身に付けるべき基本的な生活習慣等についても、「こんなことができるようになった」と、できることが増えたこと、頑張ったこと等を胸を張って言えるようになる児童が少しでも増えるよう期待しています。

学校評価結果について《保護者アンケートの結果と分析》

さて、過日実施しました「学校評価」の結果についてお知らせいたします。なお、達成度を「A そう思う」と「B おおむねそう思う」を合計したパーセントとして示しました。保護者の皆様のご協力、大変感謝しています。貴重なご意見もたくさんいただきました。今後、この結果をもとに改善策を検討し、本校の教育活動に生かして参りたいと存じます。ありがとうございました。

		評価項目	H30	R1
教育活動について	1	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	97%	97%
	2	お子さんは、あいさつがよくできている。	87	84
	3	お子さんは、授業がよくわかり意欲をもって学習している。	86	85
	4	お子さんは、思いやりがあり他の人のことを考えた行動がとれている。	92	92
	5	お子さんは、進んで読書をしている。	57	59
	6	お子さんは、自分なりの目標を持ち真剣に取り組んでいる。	77	73
	7	学校は、子どもに対し、いつも温かく声をかけたり、励ましたりしている。	88	94
	8	学校は、学校生活を豊かにする行事や活動をしている。	98	97
	9	学校は、安全指導を適切に行い、子どもの安全確保や事故防止に努めている。	98	95

全体的に概ね良好な結果でした。7については昨年度より改善が見られました。教職員が児童一人一人とより真剣に向き合い、良いところ、伸びたところを認め、褒め、伸ばす指導を心がけた成果の表れだと感じています。3についてはこれからも、新学習指導要領の趣旨に則り「よく考える授業」「よりわかりやすい授業」「より楽しい授業」を目指すため、校内の授業研究や各種研修の充実を図り、授業力の向上に努めなければならないと考えています。本校児童は、学力調査から「読むこと」の力がやや不足しています。読む力を付けるには、読書がとても効果的です。良書をたくさん読むことで着実に力が付きます。学校と家庭とで連携して、読書を推進していければと思います。お子さんに読ませたい本などのご要望等ございましたら学校までお知らせください。

家庭との連携	10	学校の教育目標や学校経営の方針、学校行事などを学校ホームページや様々な便りなどによって、保護者にわかりやすく伝えている。	96%	95%
	11	学校は、地域や保護者の協力・参加を得て、よりよい教育活動を行っている。	96	97
	12	学校は、家庭への連絡をきめ細かく行い、子どもの様子などを分かりやすく伝えている。	85	88
	13	学校と家庭とが連携して、適切な家庭学習ができるようにしている。	88	88
	14	学校は、保護者からの連絡や相談に誠実に対応している。	95	95

子どもの家庭生活	15	お子さんは、朝一人で起きる。	53	49
	16	お子さんは、朝食を毎日食べている。	89	97
	17	お子さんは、忘れ物をしないように持ち物確かめている。	78	78
	18	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	80	78
	19	お子さんは、家族とよく話をしている。	98	91
	20	お子さんは、家事の分担をきちんと果たしている。	69	68
その他	21	保護者の皆様は、子どもの危機管理をしっかりと行っている。(防犯・防災・ネット管理等)		91
	22	保護者の皆様は、子どもの話をよく聞いている。	97	95

全体的に概ね良好な結果でした。12については、連絡帳の確認、電話連絡の在り方等、全職員で共通理解を図り、より一層保護者の皆様にとって信頼と安心の学校となるよう努めて参ります。13、18につきましては、宿題や家庭学習についてのご意見や悩みをいただきました。宿題については、学年や学級、教科に応じてその量や内容が変わってきます。ご不明の点がございましたら、いつでも学校までお問い合わせください。家庭学習については、ぜひ、継続的に行う習慣を身に付けると良いでしょう。本校は学力調査結果を見ても全体的に良好ですが、これに甘んじず家庭学習で日頃の学習の定着を図るとより一層の伸びが期待されます。また、朝一人で起きられなかったり、家のお手伝いがあまりできていなかったりするお子さんが増えているようです。良い習慣は、才能を超えと言います。朝食については、これからもよろしくお願いします。学校でも家庭でも、お子さんの話をよく聴き、よく話し、そして、良い習慣を身に付けさせ、よりよく成長させていけるよう願っています。

おめでとうございます!!!

☆ 今回は、児童、教職員両方の嬉しいお知らせです。

◇ 1月31日(金)の下野新聞にも掲載されましたが、本校6年室井優奈さんが、「グリム童話賞」大賞を受賞しました。今回の共通のテーマは「7」です。室井さんの受賞は2年連続です。「物語の物語」という作品でとても魅力あるストーリー展開でした。さらに嬉しいことに、4年高橋亜月さんも「七つの貝」という作品で奨励賞を受賞しました。大賞・奨励賞のダブル受賞は5年連続です！ 本当に凄いことです。二人の作品はとても小学生とは思えないほど素晴らしく、どちらの作品も一気に読んでしまいました。これからも、素敵なお話たくさん書いてくださいね。また、「グリム絵画展」では、2年山本咲芦さんの「たのしいきゅうりがり」という作品がグリム賞に、5年荒川楓奈さんの「ひまわり畑」という作品が特別賞を受賞しました。どちらも絵を描くのが大好きという気持ちが伝わってくる素晴らしい作品でした。おめでとうございます。



◇ 同じく1月31日に、1年上條陽向さんも「やさいのくずはそだつのか？」をテーマとして理科の自由研究に取り組み、栃木県理科展覧会並びに発表会中央展覧会審査会において最優秀賞を受賞しました。豆苗は根の部分から再生できるが、他の野菜でもできるのか疑問に思ったことから始めた研究です。子どもらしい発想と、写真を上手に使った丁寧でわかりやすいまとめ方が評価されました。おめでとうございます。

※ 先生だって子どもたちに負けないように頑張っています！

◇ 1月25日(土)下野市教育のつどいにおいて、2学年主任 塚田成美先生がこれまでの学校教育に対する功績が認められ、市教育委員会表彰 優秀優良教職員として表彰されました。おめでとうございます。この受賞も本校は昨年の事務長 矢口裕子先生に続き2年連続です。

古山小は、児童も教職員も一生懸命取り組む地域に誇れる学校です。

※ ご出産おめでとう！

♡ 1月26日から産前休暇に入っていた本校栄養士の日下田琴美先生が1月24日(金)、無事可愛い女の子を出産されました。おめでとうございます。



※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載しますのでぜひご覧下さい。
学校HPアドレス http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/

こちらからもご覧になれます →



